



「2030年度燃費基準95%達成車」



「平成30年排出ガス基準75%低減レベル」認定車

基礎情報	車両型式		6AA-CV3	
	原動機	型式	LFB-H4	
		総排気量(L)	1.993	
	駆動装置	駆動方式	FF	
変速機		—		
環境性能情報	燃料消費率*1	JC08モード	燃費(km/L)	30.0
			CO ₂ 排出量(g/km) 〈燃費からの換算値〉	77.4
		参考		2030年度燃費基準95%達成車
		WLTCモード	燃費(km/L)*2	22.8
			市街地モード(WLTC-L)	21.2
			郊外モード(WLTC-M)	24.4
			高速道路モード(WLTC-H)	22.6
			CO ₂ 排出量(g/km) 〈燃費からの換算値〉	101.8
	排出ガス	適合規制・認定レベル		平成30年排出ガス基準75%低減
		試験モード ⁶		WLTCモード ⁶
		認定基準値 (単位:g/km)	CO	1.15
			NMHC	0.025
			NO _x	0.013
	PM		—	
	参考		九都県市指定低公害車の基準に適合(平成30年基準)	
適合騒音規制レベル		平成28年騒音規制 規制値:加速走行70dB(A)		
エアコン冷媒	種類/GWP値*3	HFC-134a/1430*4		
	使用量	480g		
車室内VOC		自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)		
環境負荷物質削減	鉛*5	自工会2006年目標達成(1996年使用量*6の1/10)		
	水銀*7	自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止*8)		
	六価クロム	自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)		
	カドミウム	自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)		
	自工会目標適用除外部品	*5:鉛バッテリー(リサイクル回収ルートが確立されているため除外) *7:ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)		
リサイクル	樹脂、ゴム部品への材料表示		樹脂、ゴム部品に可能な限り全て	
	リサイクルし易い材料*9を使用した部品		アンダーコート、インパネ表皮、カウルトップガーニッシュ、グローブボックス、サンバイザー、シフトノブ、センターコンソール、ドアライニング、ピラーガーニッシュ、ウオッシュャータンクなどの内外装部品	
	再生材を使用している部品		バッテリーボックス	
	リサイクル可能率		車全体で95%以上*10	
環境負荷物質使用状況等	鉛	使用部品:電子基盤、電気部品のはんだ		
	水銀	全廃済み		
	六価クロム	全廃済み		
	カドミウム	全廃済み		
その他	グリーン購入法適合状況		グリーン購入法適合車	

*1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。
 *2 WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。
 *3 GWP: Global Warming Potential(地球温暖化係数)
 *4 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められております。
 *6 1996年乗用車の業界平均使用量は1850g(バッテリーを除く)。
 *8 交通安全上必須な部品の極微量使用を除外。
 *9 ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。
 *10 「新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会)」に基づき算出。
 ※ この環境仕様書は2021年4月現在のものであります。
 ※ 写真の車両の「燃費基準達成ステッカー」と「低排出ガス車認定ステッカー」は、実際の車両には貼られていない場合がございます。
 また、写真上の当該ステッカーの内容は、2021年3月末時点のものであります。